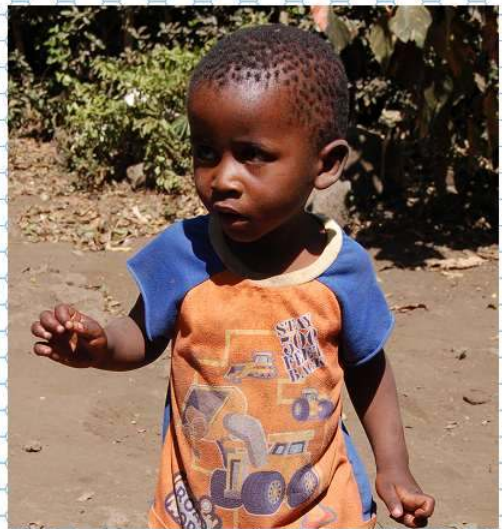


30秒に一人、1日に3千人、1年に100万人の命を失っています。



明日を待てない、命があります。

JCI  **NothingButNets**
A Global Campaign Fight Malaria



マラリア撲滅運動

(社)日本青年会議所<<LOM重点依頼運動>>~JCI Nothing But Nets キャンペーン~について

**高い確率で5歳以下の子供たちの命を奪うマラリア、それは蚊に刺されることで感染する脅威の感染症です
私たち708の各地青年会議所メンバーは、幼い命を守る蚊帳をアフリカに送る運動をしています**

JCIは2003年、JCI-UNリーダーズサミットにおいて国連ミレニアム開発目標(MDGs)を推進し、国連の努力に貢献することを表明しました。しかし、近年のMDGsの報告書によると世界的経済不況や原油高騰問題、国家間の取り組み意識の欠如等によって活動が妨げられており、地域によっては事態が悪化している状況があります。

JCIではこのような状況を変えていくために2008年度より、MDGsの課題である「マラリアの蔓延防止」について国連と協働し、民間主導の運動として解決に向けて積極的に関わることを表明し、JCIとしてアフリカのマラリア蔓延地帯の5歳以下の子供を持つ100万世帯に配る運動を開始しました。

本運動を通じてJCIメンバーが世界で起きている問題に対して関心を持つとともに、解決に向けて積極的に行動する機会としています。そして、さらに各地域に浸透させることによって、市民の方々が世界平和実現に向けて関心を持ち継続的に関わって行くことを期待しています。

マラリアは夜行性の蚊を媒体とする死亡率の高い感染症であり、毎年100万人近くの5歳以下の子供たちの生命が失われています。効果的な対策として殺虫効果のある蚊帳の中で就寝することが最も有効的と実証されています。

蚊帳(オリセツネット)は日本企業の技術で生産されており、日本の優れた技術と私たちの積極的な行動力によって多くの子供たちの生命を救う本運動にご協力をお願いいたします。

※MDGsとは2000年9月ニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットに参加した189の加盟国代表は、21世紀の国際社会の目標として2015年までに貧困と飢餓の撲滅、HIV・マラリア等による疾病蔓延の防止、人権問題などの解決し、世界の平和と安全を実現するために定められたものです。

お問い合わせは

JCI 